

令和7年度 高森町地震総合防災訓練 概要

（避難・安否確認・情報伝達訓練）

1) 実施日 9月7日（日）午前6時から

2) 目的

災害時に逃げ遅れ（助け遅れ）を生まないようにするため、一刻も早く安否を把握し、不明の方には速やかに必要な支援（共助・公助）を届けることが重要となります。

そのため、実災害を想定した避難・安否確認訓練を実施し、地区・区ごとの課題の整理や安否確認方法の確立に役立てる機会とします。

3) 訓練の概要

① 地区タイムライン等に沿った避難行動の実施。

実際のタイムラインには「発災～3日以内」の行動が列記されています。ただし、訓練時間は約1時間ですので、**時間内で「発災～24時間以内」の行動を可能な限り実践**して後の振り返り作業に繋げてください。

また、マイ・タイムライン（個人の行動）を作成済みの方については、訓練前日までに行動内容を確認し、当日はタイムラインに沿った避難行動訓練を行ってください。

② 隣組・常会等で、迅速な安否確認と早期の安否不明者の解消を行い、地区・区対策本部への確実な安否情報の伝達を実施。

訓練なので**失敗**を恐れず、反省や課題を発見する**チャンス**と捉えましょう！

災害想定 南海トラフ巨大地震／震度6弱（全町広範に被害）

《全体目標》①全住民の安否把握、②発災後1時間以内の町対策本部への報告

《地区・区目標》（**各地区・区で事前に目標を設定し訓練に臨んでください。**）

目安の時間	住民や地区・区の動き
個人 発災(6:00)	(訓練開始) 同報無線・有線放送、LINE・緊急速報メール配信 ① 自身と家族の身を守る行動をとる 
発災から3分後	② 揺れが収まったことを確認し避難を開始 ☐ 発災前には避難を開始しないよう徹底！ (☐ 「マイ・タイムライン」を作成済みの方は、これに沿った行動をとる。)
発災から10分以内	③ 一次避難場所※へ避難する ※隣組・常会で決められた最寄りの集合場所

隣組・常会	④ 隣組・常会単位での安否確認 □ 一次避難場所に集まったら隣組長等は住民の安否を確認。 □ 様式1を使って安否未確認者（未参集者）を特定する。 例）4人家族のうち1人で避難してきた人は、残り3人は自宅が無事である旨を隣組長等に伝える。 ⑤ 安否不明者の確認（準備） □ 隣組長等は、未参集者※¹のうちで安否不明者がいる場合、避難してきた者の中から確認に行く者※²を指名する。 ※¹ 事前に訓練不参加の連絡を受けている場合は「無事」とする。 ※² タイムライン等で決まっている場合はその人をお願いする。
発災から 30 分以内	⑥ 安否不明者の確認（実行） □ ⑤で選定された者は、携帯電話が使えない状況を想定し、できうる限り<u>安否の確認できない者の自宅へ実際に赴き、安否確認を行う。</u> ※訓練の中では、在宅状況（安否）さえ確認できれば「無事」として実際に避難までさせる必要はない。 ※この時点で安否が確認出来なければ安否不明者としてカウントする。（いつまでも確認作業を続ける必要はありません。） □ 隣組長等は全世帯・全員の安否確認作業が完了した時点で、安否不明者数を様式1の「未確認」欄に集計する。
発災から 60 分以内 地区 区	⑦ 隣組等から地区・区対策本部への報告 □ 隣組長等の指示で避難場所（各地区（区）の訓練会場）へ移動し地区（区）対策本部へ参集結果を報告する。 □ 地区対策本部は様式2使って地区内の避難者や安否不明者数の集計を行い、確定した時間（備考欄に記入）を記録する。 □ 地区対策本部は集計結果を更に区対策本部へ報告する。 ⑧ 区対策本部から町対策本部への報告 発災後30分経過した時点で町から各区へ職員を派遣します。職員が到着したら、区対策本部員は職員に現状報告(情報共有)のうえ、町へ第1報を入れてください。 □ 区対策本部は、様式2使って地区からの報告を集計し、町対策本部へ安否不明者数と確定した時間を報告※する。 ※防災行政無線の訓練も兼ねて区対策本部員が無線機を操作して報告する。（必要に応じて町派遣職員が補助します。） ⑨ 町全体の訓練終了 → 訓練会場ごとの訓練に移行

訓練後、訓練参加人数（避難者数）や反省点を集計し**様式4**で報告してください。

訓練に関わる資料や様式のデータは、町ホームページからダウンロードできます。（<https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/docs/64324.html>）



4) 地区・区単位での事前準備

① 地区タイムラインの活用及び住民への事前周知（内容説明）

令和5年度に、地域の“共助力”向上を目指し、町内全地区で地区タイムラインが作成されました。本タイムラインを今回の訓練に取り入れて活用いただくほか、住民に対して地区から具体的な内容について事前説明を行っておいていただくと、訓練がスムーズかつ実効性のあるものになると思います。

② 住民へのマイ・タイムライン作成の呼びかけ

各地区タイムライン様式の「マイ・タイムライン」欄を訓練日までに各家庭で話し合っ
て作成するよう住民に案内しておく、各個人や家庭で効率的な避難行動がとれるようになり
「自助力」が向上することに加え、各区・地区の体系的かつ迅速な安否確認にも繋がります。

※詳細は、P13～14の資料を参照してください。

5) 隣組・常会単位での事前準備

① 一次避難場所に集まる隣組・常会単位で名簿の整理

- ・訓練に向けては安否確認表に世帯主、世帯員数を事前に記入しておいてください。

※今回の訓練に限らず、有事に備えて常に名簿の整理を行っておくことをお勧めします。

② 地区タイムラインや隣組・常会単位での約束事（ルール）の確認

- ・地区タイムラインや隣組・常会での発災時における避難行動や安否確認に関する“約束事（ルール）”等を再確認し、皆さんで共有しておいてください。

③ 安否確認方法の確認

- ・いざ実災害時に慌てないように、安否確認の方法等を整理して共有しておいてください。
例）誰が安否確認に向かうのか、安否不明者宅へ赴いた際に応答がなかった時の対応 等

6) 訓練終了後の振り返り（PDCA）

振り返りによって訓練での気づきを改善につなげましょう！

① 地区・区単位での振り返り

- ・訓練後に参加者で集まり、地区タイムラインに沿った避難行動を実践した結果を踏まえ、
「これで本当に自分達の命は守れただろうか？」という視点で振り返りを実施しましょう。
- ・振り返った結果（気づきや反省点）を踏まえて地区タイムラインを見直してください。

② 隣組・常会単位での振り返り

- ・避難行動や安否確認について、隣組・常会単位で一次避難後の行動の振り返りや、より迅速に安否確認を行うための方法を検討し、安否確認のルール等を見直しましょう。

③ 個人・家庭単位での振り返り

- ・マイ・タイムライン等に基づいて実施した事前の備えや自宅を出てから一次避難場所に向かうまでの避難行動等について、家族で振り返ってマイ・タイムラインを見直しましょう。